

JUNGIDO

1898 =  = 1994

1998年は創立100周年です

CONTENTS

巻頭エッセー	1
平成6年度総会案内	1
周年記念同窓会案内	2
同窓会活動報告	3
同窓会費納入のお願い	3
周年同窓会予告	3
座談会「世代をこえてひろがる和」	4・5
恩師訪問	6
OB近況報告	7
膳所高NEWS	8
膳所高生今昔	8

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会
 大津市膳所 2-11-1 TEL 0775-23-2304
 発行日/平成6年4月15日
 編集人/広報部会・谷口啓司
 印刷/有限会社服部印刷所

VOL.4

新入会員



「同窓会入会にあたって」

平成6年卒業 (膳所高42回)
池田 洋介

個人がますます孤立化し、他人に対する関心も思いやりもなくなっていく社会。人間は地球を破壊しようとしているばかりか、自分自身をも崩壊させようとしている。その中で生きていく我々に未来の希望はあるのか。我々が必死に逃れようとしている問いである。
 現在に目を背けて生きている限り、我々に未来などありはしない。しかし我々が現在に直面し、はるか遠く

巻頭エッセー

随想

最近思うこと



学生時代の思い出などと書くと、大抵の人は薔薇色の青春時代を思い出すのでしようが、残念ながら私の世代の学生生活は、中学、高校、大学(何れも旧制)の殆どが日本の戦時色をもろに受けた受難時代でした。現在の学生諸君の豊かな生活からは想像もつかない「無い無い尽くし」の極限の状態であったのです。そのように非常に歪曲された学生生活の経験しか持たない私が、教訓めいたことを書くのはいささか不適當の感がするのは否めないところですが、以下最近考えていることを書いてみます。

それは現在の先進国、とくに日本は何事も経済性優先に走り過ぎる余り、自然と人間との調和を忘れていっているのではないかと危惧です。人類の消費する莫大なエネルギーが、太陽から地球に降り注ぐエネルギーに比べて無視できなくなったとき、この太陽系内のちっぽけな第三惑星である地球はその廃棄物を処理できる能力を持っているのでしょうか。化石燃料の消費に伴う大気汚染、酸性雨、さらにオゾン層の破壊、地球の温暖化、熱帯雨林の濫伐による砂漠化の進行等々、考えて見ると何一つとして地球を住み良い環境に維持することに貢献しているとは思えないのです。

昭和16年卒業 (膳中39回) 川井孝夫

(旧姓喜多村)

物理屋の私から見ると、宇宙を支配する四つの力(強い力、弱い力、電磁力、重力)を表わす諸常数にほんの僅かな変化を与えるだけで、この世に原子、分子は存在せず、もちろん太陽も人間も存在しないばかりか私共の知る形の宇宙もないことが分っています。さらに地球という水惑星は、太陽という百億年単位の寿命と適度の質量の親星を持ち、しかも太陽からの距離がまさに水が液体である適度の距離にあることを思うとき、人間及び高等生物が誕生する条件を偶然、しかも見事にクリアしているのです。まさに神業としか表現しようのない微妙なバランスの上に、人間という高等生物が誕生したことを知るべき、現在は人間が本当にホモ・サピエンス(賢い人)と呼ばれるに値するか試されようとしている時代だと思っております。

さて諸君は勉強、スポーツ、趣味など何れに没頭するのも結構ですが、たまには私のようにグローバルな考え方に思いを馳せるのも大切なことではないでしょうか。



略歴
 出生地 滋賀県滋賀郡伊香立村北在地
 (現大津市伊香立北在地町)
 ・滋賀県立膳所中学校(昭和16年卒、第39回)
 ・大阪府立浪速高等学校理科甲類卒
 ・京都大学理学部物理学科卒
 勤務先 京都大学教養部物理教室
 (現総合人間学部)昭和62年定年退職
 京都大学名誉教授
 理学博士
 専攻 物性物理学

くの自分の理想をしっかりと見定め、新たな第一歩を踏み出す時、新しい未来は開けると思う。未来は若者が作るものではなく、現在を生きるすべての人が手を取りあつて作りあげていくもの。
 この伝統ある膳所高生の一員として、世代を越えたかたい絆で結ばれた仲間として、この同窓会に入会し、この膳所高を卒業した多くのすばらしい人達と現在を生きていけることを誇りに思う。我々の根底に流れている優れた膳所高の魂を誇りに思う。
 18歳にしてまた一つ現実を知り、母校を巣立つ私達。膳所高だけは、いつまでも変わらぬ我々の未来でありたい。

会費納入ありがとうございました。

同窓会会費納入状況

昨年4月から納入いただいております、平成5年度同窓会会費は、平成6年2月1日現在、

総額 **23,360,878円**

に達しました。

会員の皆様のご理解に感謝しますと共に、ますますのご協力をお願いいたします。なお未納の方は、同封の振替用紙にてお送りください。くわしくは3ページをご覧ください。

(財務部会)

同封のハガキにてご出欠をお知らせください。

- 講演 “汽車旅の楽しみ”
 講師 種村直樹氏
 (東2回卒、レールウェイライター)
- 懇親会 懇親会に出席される方には会費として10,000円を当日徴収させていただきます。
- 日 時 平成6年5月8日(日)
 午前9時30分受付開始
- 場 所 大津プリンスホテル
- 議 事 平成5年度会務報告
 会計報告並びに
 会計監査報告
 各部会報告
- 講 演 “汽車旅の楽しみ”
 講師 種村直樹氏
 (東2回卒、レールウェイライター)
- 懇親会 懇親会に出席される方には会費として10,000円を当日徴収させていただきます。

平成6年度 同窓会総会

総会は毎年5月の第2日曜日です。多数のご参加をお待ちしています。

平成6年度 総会のお知らせ

新しい組織の下でさまざまな新事業に取り組んで参りました同窓会活動も、着々とその成果をあげつつあります。会員の皆様には、会費納入を始め、いろいろな方面で多大のご協力と励ましをいただき、改めて膳所高同窓会の底力を感じさせられることが多い昨今です。

このような活動の盛り上がりを受けて、平成6年度の同窓会総会を左記の要領で開催いたします。この総会には例年多くの方のご出席をいただいておりますが、特に昨年からは、若い世代の方々がたくさん参加してくださるようになりました。今年は、平成10年の100周年記念事業に向けての議事も含まれており、より幅広い年代からの忌憚ないご意見をいただきたいと思います。どうぞ多数の方々のご出席をお願いいたします。

周年記念同窓会



膳六会35周年記念同窓会 (膳所高6回)

平成5年3月、各クラスより3人から5人程度にお願いして準備委員会を結成し、5月に開催予告はがきを発送しました。

9月には案内状(返信はがき付)を送付、11月14日に大津プリンスホテルに於いて開催いたしました。この間準備委員の皆さんが、恩師係、印刷係、会計係、アトラクション係等を分担し、積極的に推進され、特に女性委員の皆さんのご努力、ご苦労によって成功したと男性委員は考えております。また、この機会に御多忙中にもかかわらず、まげて御出席いただきました恩師の先生方にも厚く御礼申し上げます。

参加者全員が大きな円となって、琵琶湖周航の歌を斉唱して閉会となりました。その後自由参加の2次会にも、ほぼ全員が参加して盛り上がったことを付言して後記いたします。

(山極元信)



膳所高26会42周年総会 (大津高2回)

昭和26年卒は、膳所高26会と称して2年ごとに総会を開いている。平成5年には、42周年の総会を湖南地区の仲間が幹事となって11月1日に草津エストラピアホテルで開催した。

総会には、東京や九州など全国各地から170名の同窓生が集まり、ご出席いただいた恩師19名を囲んで、料理や酒に舌つつみをうちながら時の経つの

も忘れて飲談した。会場には、幹事苦心のベートーベンの「ロマン」やモーツァルト「ピアノ協奏曲」など20曲のBGMプログラムが流されて一段とムードを盛り上げていた。

しかし、すでに40名の物故者があり、集まった同窓生全員で黙祷を捧げて友人の冥福を祈った。次回は、守山、野洲地区が幹事となって2年後に開催することを決めて盛会のうちに終了した。

(西村政之
野村弘)



霜月会 (大津高1回)

平成5年11月13日(土)より14日(日)にかけて恒例の霜月会例会を晩秋の江の島、鎌倉において行った。遠路とはいえ、17名の参加を得て江の島、岩本楼で秋の味覚に舌鼓した。当日は懇親会の始まる頃より雷鳴がとどろきわたる大嵐と相なつたが、宴席には全く関係なく、和やかに酒を酌み交わしながら、或いはカラオケに、或いは友と近況を語り合い、更にはそれぞれの健勝を喜び合いながら時の経つのも忘れて賑やかな江の島の夜は更けて行った。一夜明ければ前日とは違って変わって雲一つない快晴で、思いがけなく旅館の窓から雪をいただいた富士の姿をはっきりと見ることができた。そして前日の荒天で江の島の観光ができず、ちよっぴり残念な想いを

抱きつつ江の島を後にして、鎌倉巡りへと向った。長谷観音、大仏、鶴岡八幡宮など紅葉まっさかりの鎌倉路を存分に堪能した後、JR大船駅にて次回の再会を約して解散した。

尚、平成6年度の霜月会は丹波君、杉田さんのお世話で秋の湖東路を巡るプランが着々とす、められているようである。1人でも多くのクラスメートのご参加を期待する次第である。

(徳田 良弘)



40周年記念同窓会 (大津東1回)

春暖の候、同窓会の皆々様には、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

扱、昨年(平成5年)11月28日(日曜日)に晴天に恵まれた中、琵琶湖ホテル瑠璃の間に於きまして、卒業40周年記念同窓会を午前11時より、185名(男性97名、女性88名)のご参加を頂き盛会に催しました。

又、その際には、松山義夫先生、中山弘先生、福島笑子先生方に御臨席を戴きまして有難く御礼申し上げます。

当日は、まず、膳所の若い人達の演奏による石鹿太鼓(膳所城の別名「石鹿城」からとる祝い太鼓)によって、賑やかな幕開けとなり、明るい雰囲気醒めぬ間に開会となりました。

遠くは、北海道、千葉、東京、横浜から来て頂き、特に女性の皆様方の遠方よりのご出席に感謝致しました。又、北海道の今阪裕次郎さんは、ご自身で漢詩を創られ、詩吟にて吟じたり、昔からユニークな人であった三輪幸彦さんは、非常に楽しいお話しをされたりで、才能の優れた方々が多く、約4時間がアツという間に過ぎて行き、一応、閉会式が終わった後も、多くの人達の参加を得て、同ホテルの2号



館にて3時半より2次会をする事となり、飲んだり、食べたりしながらお互いにお話しをしたりして、皆様方全員の方々が、17・18歳頃に戻って、和やかな、楽しい時間を過ごして頂く事が出来まして、大成功にて幕を閉じさせて戴きました。

(今井睦夫)



50周年記念同窓会 (膳中41回)

膳中を卒業してから50年、古希を迎えようとする年令に近づいている。しかし、自分では年をとったという実感が薄い。それは、未だ色気だけはしっかりと残っている。そんな学友達が遠くから懐かしい顔を見せる。白髪あり禿あり、いささか老化を匂わせる容貌こそあれど、身体全体には精気がみなぎっている。同期で戦没、病没された40名の物故者追悼法要を平成5年11月28日(日) 瀬田「雲住寺」にて厳修させていただき、北川(体操) 縣(旧姓上村) 中西(教練)の3名の恩師を迎え「臨湖庵」にて47名出席のもと宴会に移る。縣先生より自作の油絵6点の寄贈があつて、抽選により配分。また、50周年記念品として「親のびわこ・子のB-I-W-A-K-O」写真集を同期全員に贈る。

(尾松 譲)



同窓会活動報告

100周年にむけてみなさまのご協力を!

会費未納の方へ

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

滋賀県立膳所高等学校同窓会 平成6年度年会費納入のお願い

同窓会会員の皆様には、同窓会活動にお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。
平成6年度会費未納の方は同封の振替用紙にて納入ください。
なお、住所等に変更がある方は振替用紙の裏面にご記入をお願いいたします。

記

〔会費額〕	年会費	3,000円
	5年会費	15,000円
	10年会費	30,000円

いずれかの会費を選択のうえ納入していただきますが、誠に恐縮ではございますが、できる限り、5年または10年会費の納入をお願い申し上げます。
新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみとします。

〔納入機関〕(振替用紙は共通です。)

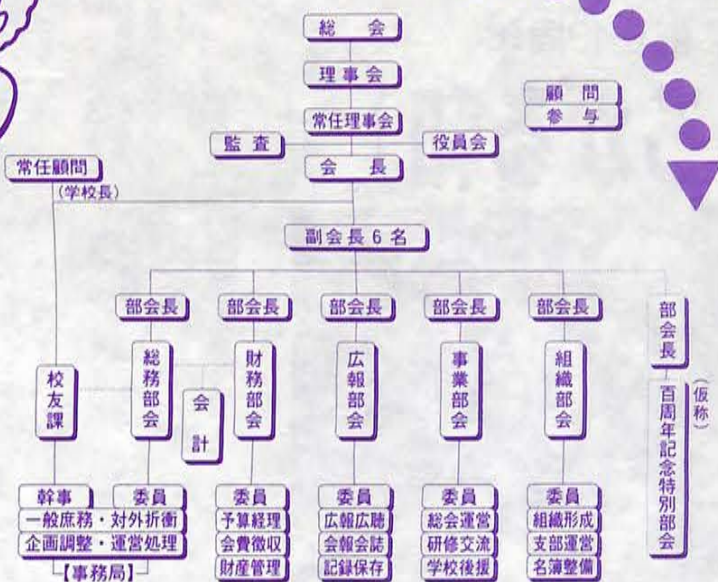
郵便局 京1 30378
銀行 滋賀銀行 本店(110) 普 913381
びわこ銀行 本店(111) 普 335940

いずれも名義は、
滋賀県立膳所高等学校同窓会会長 宇野 勝 です。

※同窓会からの領収書は発行していませんのでご了承ください。



〔機構〕



〔会議〕



平成6年度膳所高等学校同窓会役員名簿

総会	宇野 勝 (中35)
副会長	宇野 敬一 (中41)
役員会	宇野 敬一 (中41)
常任理事	宇野 敬一 (中41)
理事	宇野 敬一 (中41)
幹事	宇野 敬一 (中41)
部会長	宇野 敬一 (中41)
委員	宇野 敬一 (中41)
幹事	宇野 敬一 (中41)

Zezeko News

“創立100周年を目指して”

創立100周年まで後4年余りとなりました。100周年の意義をどのように把握し、どのような全体像を構築してゆくか。学校当局としては、この課題に向かつて平成5年9月以降、数回の校内準備委員会を経て、検討を深めてきました。昨年度は事業部を中心に県内経験校視察を通じて見識を深める傍ら、情報蒐集に力が注がれましたが、今年度は県外実施校を訪ねて種々な助言や資料提供を受けるとともに、直前校との交流による情報の蒐集にも努めてきました。これらを素材として、現在の委員会を更に拡大強化し、実行段階へと移行してゆくことを検討する一方、100周年への基本構想と記念事業の輪郭等を含めたイメージ描写を進める中で、校内での準備上の当面目標を次の3本柱に絞ってはどうかという点で、内外の合意を得る方向に進められてきました。

(1) 本校教育の歴史と伝統を史実として後世に遺すよう文化遺産の蒐集と記念誌発行を全体的規模で取り組んでどうか。

(2) より良い教育環境の整備に向かつて、青写真を現像し、記念事業として実現に移すよう内外関係各位の合意を求めてゆく。

(3) 募金活動について、ご協力をお願いする。

“通信制閉校に向けて”



本校通信制課程は、このたびの県の定通教育再編成計画により、平成6年度末をもって閉校され、新しい時代の通信制教育を新設の天津清陵高校に託すことになりました。

昭和23年4月に開校して以来、1600名余の卒業生を送り出してその幕を閉じることになりました。およそ、50年間にわたった本校の活動は、近畿のみならず全国の通信制高校の仲間から、「滋賀の膳所高」として多大の評価を得ており、本校の閉校は非常に惜しまれています。この輝かしい伝統は、きつと天津清陵高校に引き継がれるものと信じています。さて、本校通信制の卒業生も「膳所高同窓会」の一員ですが、その中で、通信制の卒業生だけで「石鹿会」と称して毎年3月に同窓会を行っており、今年3月27日(日)に「のぞみ荘」で開かれ、今年度の議題には、閉校記念行事実行委員会の設置等が出され、同窓生・在校生・教職員等が一体となって、閉校事業を行うことを計画しております。

とくに、同窓生の要望で、膳所高校の敷地内に、通信制跡を記す「石碑」をつくる予定です。そのための資金援助を「膳所高同窓会」の役員会にもお願いしたところですが、有志の方のご芳志も歓迎いたしますのでよろしく願います。

(通信制教頭 山本正史)

周年同窓会 予告

多数のご出席を
お待ちしております。

本欄を有効に
お使いください



- 昭和19年卒業(膳中42回)
卒業50周年記念同窓会
平成6年10月15日(日) 午後5時〜金波(膳所公園前)
幹事 桂 賢一
TEL0775・22・0261
広岡徳次郎
TEL0775・24・3771
- 昭和24年卒業(旧大津)
卒業45周年記念同窓会(真珠会)
平成6年6月12日(日) 13時(月) ホテルプラザ淡路島
幹事 太田 公子(旧姓下村)
TEL0775・414・1566
藤谷 道子(旧姓桜井)
TEL0775・72・0404
- 昭和29年卒業(大津東2回)
卒業40周年記念同窓会(東二会)
平成6年9月11日(日) 午前11時集合 大津プリンスホテル新館
同窓の皆さん奮って参加ください。後日案内状を送ります。
連絡 先 赤井 烈男
TEL0775・46・3707
八木よし子(旧姓中村)
TEL0775・74・0511
- 昭和34年卒業(膳所高7回)
卒業35周年記念同窓会
平成6年9月4日(日) 大津プリンスホテル
代表 表 白倉 一路
会費 17,000円
7月初旬詳しくご案内します。
- 昭和39年卒業(膳所高12回)
卒業30周年記念同窓会
平成6年9月に予定
準備委員会 服部 章
事務局 大津市中央四丁目10-18
TEL0775・24・0011

県内公式戦優勝もついでに1000回。



須田 本日は運動部として初めての企画にお集まりいただきありがとうございます。バスケット部OB・OG会大先輩から大学生まで、各年代の皆さまに幅広くご出席いただいております。勝利高バスケット部にまつわるいろいろな思い出など、気楽にお話しいただき楽しく盛り上げていただければ幸いです。よろしくお願いたします。

初代キャプテンから現役生まで



関口 昭和32年のOB・OG会発足時から今日までずっと会長をさせていただいております。

昭和33年の時、電球部ができた。昭和16・17年滋賀県大会で優勝しました。私の記事として校誌「運流」に掲載され今も保存されています。練習場は雨天体操場でも、古い床の節や釘でわら草履がすり切れ、よく怪我をしたものでした。試合のときだけ草履の地下足袋でした。靴の立派さは現在の後輩たちを羨ましく思います。

私は生徒出身、ソ連軍の捕虜となりましたがおかげさまで寒暑に耐え元気に帰って来ることができました。これもバスケット部で鍛えられたことが大きく力となっていると思います。



北条 関口さんと同級です。学生として教員として、勝中・勝所高の長年お世話になってから41年3月までバスケット部の顧問でした。沢村宗美先生や須田武志先生と一緒の時期もありました。私の次は岡野巧先生が顧問でした。

勝中では、昭和9年にバスケットの同好会ができた。16年に正式に電球部が発足し2年間在籍。その後記録がしばらく空白です。新制になって昭和24年頃は男女ともバスケット部が発足しています。

関口 県立女学校の体育の先生であった川瀬正吉先生が勝中



バスケット部OB・OG会創立40周年 「世代をこえてひろがる和」



- 出席者(敬称略)
- 関口 英巧 (昭和18年卒)
 - 北条 勇 (昭和18年卒)
 - 中村 健 (昭和26年卒)
 - 須田 純子 (昭和32年卒)
 - 房 純志 (昭和34年卒)
 - 林 三郎 (昭和43年卒)
 - 服部ひろみ (昭和46年卒)
 - 池谷 忠彦 (昭和47年卒)
 - 吉浪 博行 (昭和50年卒)
 - 森本 容子 (昭和59年卒)
 - 向井 哲雄 (平成3年卒)
 - 竹村しづ子 (平成4年卒)
- 平成6年2月27日(日) 正午午後3時
■旅館「月乃歌」
- 京都石山寺から徒歩5分、勝所高同窓生久保田金吾・三平代(バスケット部OB・OG)夫妻経営の「月乃歌」バスケット部OB・OG会会長、理事長、元顧問の先生を招き、幅広い年代の皆さまに上記のテーマで座談会を行いました。
- 30年間にわたり勝所高バスケット部を育ててくれた須田武志先生を囲み、懐かしい思い出、成績、苦労、楽しかった部活動のお話など聞きました。
- 世代を越えての皆さま方の強い結びつきは母校のバスケット部の今後の発展につながるものと心強いを感じました。
- 紙面の都合上、一部分のみ紹介させていただきます。差しからずご了承ください。
- ご協力ありがとうございました。(花坂)

と合併した新制大高でも大変熱心に厳しく女子を指導されておられました。

中村 そのおかげで女子は県女時代から引き続き強く団体(国民体育大会)に5・6回連続出場しています。男子も24年東京国体に出場、その後引き続き県内では強い時代が続きました。はくは卒業後28年からはコーチとして母校のバスケット部に関わってきました。

房 昭和31年インターハイ(高校総体)に出場。32年・33年と後輩が連続出場しました。男子と一緒にインターハイにいきたくて強い願望と先輩たちの指導のおかげと先思想です。バスケットは楽しかったし先輩とのつながりが強く中村・吉川・久保田三平先輩たちの指導で毎日毎日の吹き込む雨天体操場で一緒に練習したバスケット部で主人と知り合え、また、息子も本校でバスケット部をやりたいインターハイにも出場できバスケット部と深いご縁です。

中村 OB・OGと現役との結びつきは以前から強かったがOB・OGの親睦と現役選手との交流を目的として昭和32年6月OB・OG会が発足しました。以後、毎年1月と昭和32年総会を開催しています。平成2年に初代キャプテンから現役生まで創立40周年総会を開催してきました。現在理事長をしております。こまめに会が発展してきたのはOB・OGの母校のバスケット部を思う気持ちと同時に事務局を担当してこられた須田先生の功績だと感謝しています。皆さんにご無理願ったこともありましたが今後ともよろしくお願いたします。

須田 昭和41年4月から母校勝所高に赴任。以来バスケット部顧問をしております。監督生活32年目(前任者3年)。当初から部活と勉強の両立、大学現役入学を前提としてイン

ターハイ出場を目標に週休2日制の練習、普段の生活指導を徹底。

平成2年に「インターハイ20回出場」を果たせました。ここまでやり遂げられたのは優秀な生徒たちに恵まれたおかげだと感謝しています。

部活動の思い出

林 須田先生の赴任されたばかりの血気盛んな頃で厳しい練習でした。卒業後も4年間、勝所高のバスケット部に関わってきました。

今、社会人バスケットクラブに所属していますが、あの頃先生に指導してもらった基本的プレーを元に活動しています。

服部 現在バスケットをする機会はありませんが、須田先生の「コーチ10年の記録」を読むと懐かしく、高体連で男女優勝祝勝会をしていたこと、高体連で出ましたが、そのメンバーは今もお付き合いがあり勝所高時代一生懸命生きてきてよかったと思います。

須田 現在は男子部員30数名、女子部員は15名です。

桂 昭和63年勝所高OBで「勝所クラブ」を設立し滋賀リーグに登録しバスケットを楽しんでいます。滋賀リーグ1部を維持。メンバーは20歳代から50歳代、今に活動できるのは一重に先生に学んだ3年間の練習のおかげで、その貯金がつくか、なるか心配ですが。

バスケットに憧れて入部。でも体育館は古くて暗いし、ドリブルしても返ってこない。ユニホームも白と紺だけ。全国大会の代々木体育館の開会式でも他校とは違いジャージの色もバラバラで自分たちだけ浮いたように気恥ずかしい思い出がありました。3回戦まで進出できたのも後援の力が大きかったと感謝します。

因みに現在の体育館は昭和53年11月の建設です。56年滋賀県バスケット部会となりました。



部活と勉強の両立は

林 両立していた仲間がたくさんいるし、それを誇りにも思っています。

関口 戦時中で、陸軍士官学校などにそれぞれ進学していった。当時から文武両道です。

北条 両立はできる。練習を終え帰宅すれば勉強という姿勢が大切。息子の場合ですが、6時間の授業を真剣に勉強するバスケットをやった時間と時間を大切にすることを覚えてもらってました。大学に行っても仕事をやる上でも一生役に立ちます。須田 進学については退部するより3年間部活をやった生徒の方がよいです。

後輩への期待

北条 一つの目標に向かって上級生、下級生が協力してやるという尊厳を経験させるにはいい。

中村 時間を有効に使うことを学んでほしい。

房 バスケットを好きになって必死に頑張ってください。

林 インターハイ出場9年連続の記録を破るようなチーム作りを目指してやってほしい。

服部 限られた時間を効率よく使えるために時間のけじめをきちんとできるようにしてほしい。

桂 将来のため身を鍛える最後のチャンスである。「なにくそ」と頑張り続けた経験は大きな糧となっている。勝所高には文武両道の伝統を是非残し、須田先生に倣えどおり須田式で指導してほしい。

池谷 日本一になってほしい。選抜の決勝に残るくらいに頑張ってください。

吉浪 切り替えを大切に、部活よし、勉強一途よし、自分の志したことを最後まで続けてほしい。

森本 厳しい練習も含め、今しかできないことを思う存分楽しんでほしい。

向井 クラブにしろ、勉強にしろ、簡単に中途で諦めず、はいっけってでも続けてほしい。自信となる。更に普段の生活で大切なこと、時間の観念とか仲間意識などがなげなく身につけているということもありません。



池谷 高校の思い出はバスケットのみ。しんどかったのと楽しかったのと半々です。印象に残っているのは昭和49年の近畿予選決勝戦で残り1秒のとき、2点差をシュートで同点にして延長戦へ。延長で優勝。選抜大会に出場。3年間でインターハイに出場。福岡まで往復とも新幹線で行き、ジャージも揃えて作った記憶があります。それまでの質素な伝統を変えた年代なのかも。3年間補欠だったのが後々、辛抱のいる司法試験にも耐えられたのは精神的に鍛えられたのが肥やしになったんだなと思っています。

吉浪 大学は古典芸能の能楽に進み、昨年独立しました。10年ぶりにOB会に出席し「勝所クラブ」に属しています。先生には怒られてばかりでチームには迷惑をかけた。でもバスケットを通じての人間関係、先生の普段の生活指導が今の生活にプラスとなっていることもたくさんあります。芸の世界にも通じていることがあり、3年間続けてよかった。芸の世界にも通じていることがあり、3年間続けてよかった。

安城市でのインターハイに出場。3回戦で能代工(その年優勝)に敗れましたが日本一強敵相手と対戦できていい思い出がありました。

森本 現在甲西高に勤務。バスケット部の顧問をしています。

昭和60年代初め頃、男子が強くてコートをとられたりしたけれど楽しい思い出が多く、今でも練習試合などは勝所高を応援してしまっていました。

竹村 卒業して2年です。キャプテンをしていました。男子が強く女子は今もコートでの使用は3分の1だけですが現在大学でバスケットをやっています。勝所高での練習が楽しく、友人に練習の様子を紹介するほどです。

北条先生の息子さんも勝所高でバスケットをされています。

したが須田先生の指導の仕方が大学で役立っていると聞かれてました。

ドンブリご飯・丸坊主・バカ!

向井 先生にはご飯をドンブリ茶碗でいっぱい食べよ。そしてたら強くなってインターハイにいけないとよく言われました。

須田 ご飯をよく食べる子が多い年は強い。インターハイ出場6回は、また現役入学が多い。勢いがあるですね。ドンブリ飯はという子がいます。

向井 しょうもないことで怒られた思い出が多いです。傘を持ってなくて怒られて雨の中を走ったり。当時の友だちとばかり話をすると盛り上がるのでいい思い出なのですが、

3年間でインターハイ(仙台市)に出場できたことでそれまでの苦労が報われてすべてよかったですと先生に感謝しています。

須田 向井君は20回目のインターハイ出場です。県立高校・男女共学・普通科でインターハイ20回出場というのは稀なことです。全国大会出場回数が多いおかげで他府県でもバスケットの世界で「勝所」を「ゼゼ」と読んでくれました。うれいですが、仙台への往復は、30数名で安い「青春18切符」を利用してました。また練習用のジャージ、ユニホームで開会式に利用しました。

食事は残さず食べる、常に傘を携帯する、ユニホームを大切に、寄り道・買い食いしないなど日常生活で当たりまえのことを徹底して鍛えてきました。指導すれば昔もいまも生徒はやってくれるんじゃないかと思えます。

桂 ひどい先生だと思ったり丸坊主にしてほしいと言われ、私も坊主にしてほしいと言われました。

池谷 「バカ！」と大声で怒られたときはビビった。関西弁の「アホ！」と違って本当に怒られている感じ。合宿では刺身についた菊の花まで苦い思いをして食べました。鯛の骨は歯が痛くなってやめました。

昭和三十九年(勝所高12回)
卒業30周年記念同窓会
9月開催に向けて鋭意準備中です。
近日中にご案内させていただきます。
ご参加ご協力をお願いします。

昭和三十九年(勝所高12回)
ケイシン株式会社
代表取締役 山元 正博
大津市湖城5丁目2-5835
TEL0775-222-5835

昭和三十九年(勝所高12回)
株式会社ヤギコーポレーション
代表取締役 八木 淳夫
大津市原川2丁目18
TEL0775-266-3601

昭和三十九年(勝所高12回)
有限会社服部印刷所
代表取締役 服部 章
大津市中央4丁目18
TEL0775-24-0011

昭和三十九年(勝所高12回)
吉田歯科医院
院長 吉田 欣一
甲斐甲斐町三番4445
TEL07748-722-0020

昭和三十九年(勝所高12回)
泰間歯科医院
院長 泰間 祥行
大津市唐橋町15-24
TEL0775-37-0495

昭和三十九年(勝所高12回)
二宮第二歯科
院長 二宮 健二
草津市上笠2丁目17
TEL0775-633-5757

昭和三十九年(勝所高12回)
株式会社アクトコンサルティング
代表取締役 山口 啓介
大津市若の浜4丁目10
TEL0775-222-4726

昭和三十九年(勝所高12回)
第一美工業株式会社
代表取締役 大音 治幸
大津市瀬田3丁目7
TEL0775-455-0167

昭和三十九年(勝所高12回)
協成電気設備株式会社
代表取締役 東岸 高史
大津市富士見15-46
TEL0775-24-4354

昭和三十九年(勝所高12回)
梅村俊二事務所
代表取締役 梅村 俊二
大津市唐橋町7丁目31
TEL0775-34-8558

昭和三十九年(勝所高12回)
松平 智康
大津市長島1丁目4-29
TEL0775-222-3192

昭和三十九年(勝所高12回)
バスケットボール部OB・OG会
会長 関口 英巧
大津市富士見53-1
TEL0775-37-2259

昭和40年(勝所高13回)
代表取締役 磯田 陽子
大津市唐橋町23-1
TEL0775-37-1780

昭和43年(勝所高16回)
新陽商事
代表取締役 新川 均
大津市馬場1丁目11-25
TEL0775-225-4570

昭和44年(勝所高17回)
井 藤士 平柿 完治
大津市中央2丁目4-28ビル2F
TEL0775-24-8022

昭和44年(勝所高17回)
昭和日本(勝所高17回)
日本パルファクスエスエヌ株式会社
取締役社長 土肥 雄治
大津市宇里里町1丁目5-3 千里町日産ビル12F
TEL06-873-2251

JUNGIDO!
第5号発行予定
平成6年10月

同窓会にかかわる情報をお寄せください
同窓会広報部まで

がんばってます!

昭和三十九年(勝所高12回)卒業30周年記念同窓会

昭和三十九年(勝所高12回)ケイシン株式会社

昭和三十九年(勝所高12回)株式会社ヤギコーポレーション

昭和三十九年(勝所高12回)有限会社服部印刷所

昭和三十九年(勝所高12回)吉田歯科医院

昭和三十九年(勝所高12回)泰間歯科医院

昭和三十九年(勝所高12回)二宮第二歯科

昭和三十九年(勝所高12回)株式会社アクトコンサルティング

昭和三十九年(勝所高12回)第一美工業株式会社

昭和三十九年(勝所高12回)協成電気設備株式会社

昭和三十九年(勝所高12回)梅村俊二事務所

昭和三十九年(勝所高12回)松平 智康

昭和三十九年(勝所高12回)バスケットボール部OB・OG会

昭和三十九年(勝所高13回)磯田 陽子

昭和三十九年(勝所高16回)新陽商事

昭和三十九年(勝所高17回)井 藤士 平柿 完治

昭和三十九年(勝所高17回)昭和日本(勝所高17回)土肥 雄治

JUNGIDO!
第5号発行予定
平成6年10月

同窓会にかかわる情報をお寄せください
同窓会広報部まで

恩師訪問

石井義雄先生

100周年に期待

—感慨ひとしお 80周年に携わって—



石井義雄先生略歴
 ・昭和22年広島高等師範(現広島大学)卒業
 ・旧制水口中学(現水口高校)教諭
 ・滋賀県立膳所高等学校教諭
 ・滋賀県立堅田高等学校校長
 ・滋賀県立甲賀高等学校(現水口高校)校長
 ・滋賀県立膳所高等学校第10代校長
 ・昭和55年文部大臣表彰
 ・仏教大学専任講師
 ・平成3年11月勲4等瑞宝章叙勲
 ・現在、仏教大学非常勤講師

今回は第10代校長石井義雄先生を訪問しました。生物担当の教諭時代を含めると15年を膳所高と共に過ごされた先生は、現在大津市音羽台にお住まい。美しい琵琶湖と雪化粧に映える比良連峰を望む書斎でお話を伺いました。

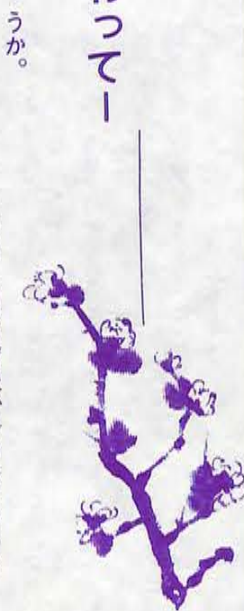
教師を志されたのは。

小さい頃からの夢でした。父親も長男の私を「地元で小学校の先生に」と考えていたようです。ただ私は中学(旧制水口中学)の進学指導の先生に高等師範に行くことを勧められ広島高等師範に入学し、旧制中学の教師になり、後の学制改革で高校の教師となった訳です。

膳所高在職時代の思い出は。

剣道部を復活させたことですね。敗戦で禁止となっていた部を、生徒の要望もあって竹刀競技という班名に変更して復活させました。当時は格技場もなく、膳所神社の拝殿を借りたり、雨天体操場で練習をしました。雨天体操場は老朽化が激しく床がガタガタで、素足になれず靴を履いて練習したことを思い出します。在職時代に野球部の甲子園出場があったと思いますが、

そうですね。春の選抜に2度、夏に1度出場してくれました。全て1回戦で敗れはしましたが、春は2度共、強豪相手に延長戦となる好試合をしてくれ、生徒会総務顧問だった私は応援態勢準備で大変でしたが、本当に嬉しかったです。2度目の投手石田君は後に阪神タイガースに入団しました。夏は丁度創立80周年(昭和53年)の記念すべき年の出場で、私の校長時代でありました。100周年にも甲子園の花を添えてくれると有難いですね。ともあれ、在職中に3度も甲子園に出場できた事は非常に幸運だったと思います。先生の在職時代、膳所高はどんな時期だったのでしょうか。



うか。

今述べました3度の甲子園出場は忘れられない出来事です。また「創立80周年記念式典」並びに「80周年記念誌発行」や滋賀県で開催された高校総体(昭和54年)で本校がバスケットボールの会場となったこと等もありました。

80周年記念式典は本当に盛大で、100周年に備える意味できちんとした記念誌も発行しようということになり、当時の同窓会会長西田善一氏(故人)をはじめ数多くの同窓会会員、諸先生方の協力で80周年記念誌が作られました。これは60、70周年に発行された記念誌を更に質量とも充実したものとすべく、記念事業の一つとして企画されたもので、立派な物ができました。100周年も今から期待しています。

総体のバスケットボール会場として、体育館の建て替えが必要となりました。従来の上までは小さ過ぎるので大きくするという訳です。これには近隣住民の反対に合い、日夜了解を得るため歩き回ったことを思い出します。

先生にとって膳所高、膳所高生とは。

どの先生もおっしゃっている事ですが、やる気のある子が相手ですから授業が非常にやり易かったですね。膳所高は公立でありながら毎年国公立大学だけで200名以上合格する進学校ですから「どんな授業や補習をしているのか」と全国各地から学校視察に来られる方が多くありました。しかし、「全てカリキュラム通りで、補習、課外授業は一切行っていないこと」「他校に比べて班の数も活動する生徒も大変多いこと」等の資料を見せて説明してもなかなか信用してもらえず、放課後、グラウンド一杯に練習している生徒達を見て、ようやく納得して戴くことが多かったのです。ど



うも世間では勉強ばかりしているように受け取られているようですね。私は「文武両道」の素晴らしい学校だと自負しています。

先生のご趣味は。

以前は居合、観世流謡曲・仕舞、そして海外旅行。今は妻と2人で国内の各地へ旅するのが楽しみです。

お好きな言葉を一言。

「人生は出会いと発見の旅である」
 70数年の人生における喜びも、悲しみも、驚きも、全ての感動は出会いと発見によることを実感しています。

興味の尽きないお話しに、予定時間を大幅に延長してしまいました。お子様もすでに成人され、今は、奥様とお2人だけの静かな生活。いつまでもお元気で活躍ください。

同窓生投稿欄

故八耳順朗先生を偲ぶ

学級担任八耳先生の7回忌にあたる平成6年2月6日、遠くは千葉、大阪、名古屋から駆け参じてくれた旧友等、昭和30年度2年5組の同級生19名が先生のお宅に集う。先生は昭和63年2月13日にご逝去、同年8月に24名が先生を偲ぶ集いを開催して以来は毎年6月、今年も仏前でも1時間それぞれ思い出を語る。「おまはん、しっかり勉強せいや」先生のあの優しいお言葉が40年近く経過した今も昨日のこのように思い出される。「いこの村びわ湖」にて昼食会と歓談で旧交を温め、楽しいひと時を過ごそうと、短い冬の一日は暮れる。
 (一色 旧姓佐々木 誠三)

優秀経営者賞に藤本和夫氏

日刊工業新聞社が中堅・中小企業の優れた経営者を表彰する「優秀経営者顕彰制度」の第10回受賞者14人が決まりました。この制度は、わが国産業、地域社会に大きく貢献した中堅・中小企業経営者を広く顕彰、中堅・中小企業の一層の飛躍を図っていくというものです。全国から推薦のあった多くの候補者を選考委員会(委員長小山五郎氏)より銀行相談役名譽会長(委員長藤本和夫氏(京都府))が選ばれました。

喜多希見子

寒鴉啼く受験生には吉と解く
 ・掃くもラララ朝の登石ひだり
 ・負けん気で階段登る一葉忌
 ・夏うぐいす夫の暮と相々傘
 (3分の訂正、お詫びして訂正します。)

●この投稿欄をご自由にお使いください。

がんばってます!

昭和26年卒業(大津高2回) コスメゾン 木村 恒夫 昭和33年卒業(膳所高6回) 大津市長等2・9・5 TEL0775・222・7349 木村 杲子	昭和27年卒業(大津高3回) 近畿日本鉄道 藤井 賢三 常務取締役 大阪市天王寺区上本町6・1・55 TEL06・775・3550	昭和28年卒業(大津東1回) 膳所クールゴルフクラブ 社長 熊谷誠三郎 昭和30年卒業(大津東3回) 熊谷 操	昭和28年卒業(大津東1回) 佃司法書士事務所 司法書士所長 佃 博史 大津市末広町10・6 TEL0775・24・5757	昭和31年卒業(大津東4回) 尚野山口山陽堂・味処万里也 代表取締役 野口 嘉明 大津市栄町2・4 TEL0775・37・0523 野口 祥子	昭和31年卒業(大津東4回) 株式会社比叡ゆば本舗ゆば八 代表取締役 八木 憲一 大津市中央4・3・15 TEL0775・22・7398	昭和33年卒業(膳所高6回) マルナカ産業 中村 安男 取締役社長 大津市石場5・12 TEL0775・22・8386	昭和35年卒業(膳所高8回) 饒生美屋(イクミヤ) 代表取締役 荒木 光男 大津市浜大津1・2・4 TEL0775・24・5938	昭和29年(大津東2回) 東二会の諸君!! 同窓会総会の講師に種村直樹君が来ます。 みんな集まろう。
--	---	---	--	--	--	---	---	--

★ラグビー部監督を経て

15年間のラグビー生活の原点
浦野 健介さん

昭和56年卒業（膳所高29回）

高校在学中のラグビー部は、危険なスポーツということ、それと何より受験勉強を理由に部員が15名ぎりぎりまで減るチームでした。さらに小柄な部員が多かったこと、練習時間、練習環境等、いくつかハンディーはありましたが、それらをプラス志向でとらえ、ラグビーを独自に研究し、創意工夫を凝らして自らを鍛えるというマインドを3年間で醸成することができたと思います。その後、大学、社会人のトップチームを引っ張っていく立場になった時、大いに役立ちました。

ここで私の新日鉄釜石ラグビー部監督として送った2年間の生活を簡単に紹介します。

社会人ラグビーは、都市対抗野球やバレーボール等の他の企業アマスポーツと異なり、朝から夕刻までまるまる会社で仕事をし、(戦力になっているかどうかは本人の能力しだいだが)社員としての部分を重視します。日曜日の試合で大活躍し、月曜日の新聞に写真が載る選手でも月曜日は朝から出勤します。

日曜日の試合で勝つか負けるかで、月曜日の出勤時は天国と地獄の差。負け試合後の出勤のつらいこと。通勤途中で浮かぶ、いつもの熱心に応援してくれる職場の人の顔。勤務時間中、次の試合に向けた対策と業務課題が脳裏を激しく交錯。それを見抜く上司の鋭い眼力。業務で部長説明を終え、部長室を出ようとする時、話題がラグビーに変わって、ふた言、み言。そして、デスクの中に胃薬が。夕食後、次の対戦相手の研究のためにテレビ(ビデオ)を独占。家族のあきれ顔。

やや自嘲げに「ラガーメン・オン・サラリーマン・ライフ」を書いてみましたが、この2足のわらじを履く生活の妙は、膳所高でスポーツもしてこられた方なら理解していただけるでしょう。その時つかんだものです。

●プロフィール

浦野 健介

生年月日/昭和37年9月28日

同志社大学在学中、同志社大学ラグビー部主将、ラグビー大学日本一
新日鉄(株)入社、新日鉄釜石ラグビー部主将、平成4年、5年と同社釜石製鉄所ラグビー部監督
新日鉄釜石勤務



あの人は今…。

近況
OB
朝生
報日



★ニューヨークで活躍

日米関係に思うこと…。

塚本 弘さん

昭和39年卒業（膳所高12回）

光陰矢の如し。我々昭和39年卒業組も、30周年を迎えることになりました。ニューヨークに来て、1年9ヶ月になりますが、最近の日米関係がかなり険悪化していることを懸念する方々も多いかと思えます。

確かに、ワシントンのクリントン政権の多くの人々は、「近年、米国企業の国際競争力が向上してきたにもかかわらず、日米間にこれほど長い間、貿易不均衡が続いているのは、日本の市場が閉鎖的であるからである。しかも、日本の人々は、具体的な形で、時には制裁もちらつかせながら、要求しないと、これまでのやり方を変えようとしません。だから、何らかの目標を設定すべきである。」と考えています。

これに対し、多くの日本人は、「アメリカの市場がオープンであることはそのとおりだが、日本の市場もオープンである。ただ、それぞれの市場にはそれぞれの企業慣行や流通の仕組みがあり、それらが変わりつつあることも事実だが、外国の人々がビジネスをうまくやるには、基本的には日本のやり方を踏まえてやらなければうまく行くはずがない。既に多くの成功例もみられるのに、日本の市場の特殊性を強調して、双方向の努力が必要である。」と考えています。

本当に、この考え方のギャップをうめるのは大変です。これまでの日本は、経済面を中心に外国との交流を深めてきましたが、日米間でみても、人間のレベルでの交流がまだまだ、不十分ですので、今後はできるだけ日本人のものの考え方、日本の色々な仕組み、また、それらの変化の徴候等をアメリカの人々に訴えることが重要と考えています。

その場合、こちらで暮らしていると、戦後の日本人がキャッチ・アップ過程の中で経済的繁栄に重点を置いて過ごしてきたのに対し、アメリカの人々は、働くこと、休息することのバランスを重視しているように思えます。

近江の人々は、近江商人の面とともに、芭蕉が「行く春を近江の人と 惜しみけり」と詠んだように、文化を愛する伝統を持ちつづけてきたと思います。

私もニューヨークでオペラ、ミュージカル、映画等を楽しんでいますが、アメリカの人々とその方面を話題にすると、とても親しくお付き合いできるように思えます。

より一層の日米の理解の増進に向けて、今後とも努力していきたいと思っています。

●プロフィール

塚本 弘

生年月日/昭和21年3月10日

出身地/滋賀県

略歴/滋賀県立膳所高等学校、京都大学法学部
通産省入省(化学工業局化政課)、
企業局産業資金課(環境庁水質保全局水質管理課、
環境庁企画調整局企画調整課、通産政策局経済協力部経済協力課、
人事院海外短期派遣研修(米国)、産農政策局消費経済課、
外務省在インドネシア日本国大使館一等書記官、
資源エネルギー庁石油部石油企画官)を経て
通産政策局中東室長、
国土庁長官官房参事官(地方振興局担当)
アジア経済研究所海外調査員(英国王立国際問題研究所)
大阪通産局総務部長
生活産業局原料紡績課長
大臣官房企画室長
現職ジェトロ・ニューヨーク・センター 所長に就任
趣味/映画鑑賞、囲碁

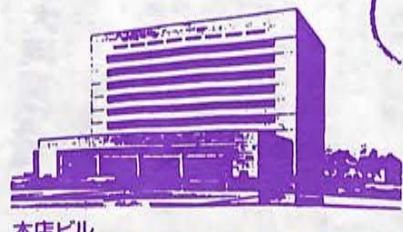


〈お詫びと訂正〉第3号本欄に掲載しました大西豊彦さんは昭和14年(膳所37回)卒業です。誤りがありましたことをお詫びして訂正いたします。

がんばってます!

滋賀銀行グループは
総合金融サービスと情報ネットワークで
皆様のあらゆるニーズにお応えします。

祝・JUNGIDO
4号発刊



本店ビル

(膳所高同窓生168名)

滋賀銀行

支店・出張所/滋賀県全域、京都、大阪、東京、名古屋、大垣、三重、ニューヨーク、香港



膳所高生今昔

膳高の教育現場から

今年も巣立っていく卒業生を見送りながら、何とコンパクトにまとまった膳所高生が多くなったことかを感じる。

私の高校時代を振り返るとき、いつも頭をよぎるのは親しくして下さった先輩たちである。奥深い、恐ろしい先輩たちが多くいたことを思い出す。ある先輩は、その当時若くして大統領になったケネディに傾倒し、ケネディに関するあらゆる著書を片っぱしから読み、ケネディのことは知らないことがないという徹底ぶりだった。またある先輩は、イスラム教に興味を持ち、コーランの魅力にとりつかれ、アラビア語にまで挑戦しようとした。また化学に深い関心を持ち、大学のテキストを使って予習ノートを作成する先輩もいた。とにかく探究心旺盛で、自分が興味をもった事は、追求できるかぎり追求するという姿勢だった。その先輩たちを迎え撃つ先生方も並みはずれた実力の持ち主が多かったが、すごい先輩たちに油断も隙もみせられなかったと思う。

今、立場が変わって、生徒をながめるとき、優秀な生徒は多くいるが、私に恐怖心を迫ってくる様な生徒にはほとんど出会えない。赴任当初は先輩のことが頭をかすめ、十分な教材研究をして自信を持って授業に臨んでも、何か得も言われぬ緊張があった。冷や汗の出ることもたびたびあった。

しかし、最近ではそういう体験があまりない。生徒は受験との関係で、どうしたら点数が上がるのかという技術的な勉強に力を注ぎ、無駄を省く方法を考え、いわゆる“無用の用”的な勉強をしなくなった。生徒たちは大学入試に成功することがゴールであるかのように考え、受験勉強に懸命に励む。彼らをそのような状況に追い込む今の受験体制が、こじんまりとまとまった膳所高生をつくりあげている原因の一つといえるのではないだろうか。

今、切に望むのは、昔の先輩たちの様なスケールの大きい豪傑が多く現われ、先生と生徒が切磋琢磨できる場の復活である。私も微力ながら努力していきたい。

竹内宗男
昭和40年卒業(膳所高13回)



南池校長のご退職にあたって

毎年この時期には数名の先生方とお別れすることになります。今年も、既に新聞発表等でもご存知のように、長年本校の教育に多大の功績を残された南池宜樹校長のご退職なされることとなりました。

先生は昭和33年4月に本校に赴任され、昭和58年までの25年間にわたって教諭として主に理科(物理)の指導に当たられました。常に基本的実験・実習を重視した厳しの中にも温かみのあるその授業には深い感銘を受けた卒業生も多いかと思えます。その後、県教育センター、教育委員会等を経て、平成3年4月には校長として再び本校に赴任されました。深い経験と強い信念に基づき、伝統ある校風を継承すると共に新しい時代に合った本校教育をめざして力を尽くしてこられたことはご承知のとおりです。

また先生は、その長年のご功績により、名誉ある平成5年度教育者表彰をお受けになり、昨年12月に東京の国立劇場で表彰式が行われました。

さまざまな分野で高い識見をもって指導して下さった先生をお送りするのは寂しい限りですが、今後は一歩離れた所から本校の教育及び同窓会活動にお力添えいただけることを信じ、先生のますますのご健康とご活躍をお祈りしたいと思います。

惜別

南池 宜樹

100周年を目前に、伝統を堅持する本校で、教職生活最後の3年間を校長として勤務させていただきましたことは、私にとってこの上ない名誉であり、感謝の気持ち一杯です。同窓会の今後益々の御発展をお祈りいたします。

桜咲き 思い出多し 遵義の地

校長先生への謝辞

会長 宇野 勝

南池宜樹校長が今春ご退職になります。長年、本校の教育に誠と熱意を注いでこられた証しとして、過日教育功労者文部大臣表彰を受賞されました。輝かしいご功績に深い敬意と謝意を表しますと共に、今後のご多幸と、本会への変わらぬご尽力を願ひ、贈ることばと致します。

平成5年度卒業式

うらかな日差しが、一足早い春の訪れを感じさせてくれる3月1日、本校では第42回卒業証書授与式が挙行されました。今年新たに母校を巣立ったのは、全日制495名、通信制69名の計564名です。

卒業式は、多数の来賓、保護者の臨席の下、本校体育館で行われました。卒業証書授与に続いて、南池宜樹校長が、「他人の心がわかる人になること、自ら求めて学べる人になること、そして生命の大切さを尊ぶことのできる人になること」を心に留めて、真剣に生きていってほしい」との言葉を述べられました。

またこれに先立って、前日2月28日には本年度の同窓会入会式が行われました。新しく同窓生となる新入会員に対して会則とバッジが配布され、同窓会を代表して岡角憲次副会長が歓迎の辞を述べられました。

新しく同窓会員となられた卒業生諸君のますますのご活躍を心よりお祈りいたします。

サクラサク! 主要大学合格者数

今年も春風に吹かれて、北から南から、うれしい合格者数よりが届けました。現在わかっている主な合格者数をお知らせします。

大学	合格者数
北海道大	8名
筑波大	9名
東京大	1名
金沢大	8名
静岡大	3名
名古屋大	11名
滋賀大・教	6名
滋賀大・経	21名
滋賀医大	5名
京都大	40名
(公立大学)	
京府立大	1名
大市立大	12名
(私立大学)	
中央大	4名
早稲田大	11名
東理科大	5名
京産大	31名
京女大	21名
京葉大	9名
京教大	8名
京工繊大	9名
大阪大	1名
大外語大	8名
大教大	3名
神戸大	11名
岡山山	6名
岡山大	6名
広島大	9名
九州大	5名
大府立大	10名
神戸市外大	3名
同志社大	90名
立命大	13名
龍谷大	78名
関西大	84名
関学大	29名
同女大	12名
平成6年3月24日現在	



膳所高物理地学班 日本学生科学賞総理大臣賞受賞

第37回日本学生科学賞(全日本科学教育振興委員会、読売新聞社主催、文部省、科学技術庁、環境庁後援、三菱電機協賛)の高校部門共同研究で総理大臣賞に輝いた大津市膳所二の県立膳所高物理地学班に14日、三菱電機京滋支店の太田清支店長から副賞のコンパクトビデオカメラやビデオデッキなど3点が贈られた。

研究作品の「水皿の研究」は、台所の流し台で見られる現象を採り上げた。水道水が流れ落ちた流し台に円形の水の盛り上がりができるメカニズムを研究した力作。昨年の4月に入部したばかりの1、2年生5人が中心になって7か月かけて調べた。代表で副賞を受け、贈呈品は同校の校長室で行われた。代表で副賞を受けた2年生の小出和弥君は「研究に夢中になって、よくビデオを壊してしまうので大変ありがたいです。新しい研究デオはコマ送り機能などが充実しているので、新しい研究の心強い武器になるはずですよ」と大喜び。

読売新聞(2月15日)より

編集後記

●本号より広報部に仲間入り。若い方にも楽しく読んでいただける紙面を創っていきたいと思います。(M)

●平成不況のかましい世の中。でも広報部員一同力を込めて、なつかしいひとときをプレゼントします。あの頃にタイムスリップをどうぞ。(Y)

●早や第4号を発刊することになりました。広報部員一同頑張っています。マンネリ化しないように、いつも新しい感覚の広報紙でありたいと願っています。皆様の声を、おおいに、お聞かせください。(U)

●春眼浅く、夢の中でもワープロの画面に原稿の文字がゆれています。座談会はいかがでしたか。(H)

●在学時代は圧倒的多数を誇った男性陣も広報部会では少数派、女性の方々のやさしさと思いやりで困りながら、夢と感動をお届けします。(A)

- 上野滋子(東2) ・ 谷口啓司(膳10)
- 田中美津代(東4) ・ 佐田葉子(旧大)
- 山田 勲(膳11) ・ 宮崎美恵(大3)
- 西谷智恵子(東2) ・ 高橋好乃(東4)
- 花坂多恵子(膳6) ・ 服部 章(膳12)
- 岩崎則子(膳26) ・ 吉田 稔(膳26)
- 西川綾子(膳27) ・ 本多美香(膳33)

